

令和元年度 豊橋市市民協働推進補助金 事業報告



目次

補助金の種類	団体	事業	頁
つつじ	おせっ会	農園（畑）を利用した地域交流活動	1
つつじ	小松原みどりの会	花壇の整備	2
くすのき	天伯団地支え合い活動ひだまりの会	天伯団地支え合い活動 ひだまりの会	3
くすのき	豊橋こども食堂*なかよし	豊橋こども食堂*なかよし	4
くすのき	アクティブ・シニア・フェスティバル実行委員会	アクティブ・シニア・フェスティバル豊橋2019~とよはしファミリーフェスタ~	5
くすのき	二川さくら守の会	さくら音楽祭りとまちづくり事業	6
わかば	高校生ボランティアハートネットワーク協議会	高校生ボランティアハートネットワーク交流会（発表会）	7
わかば	愛知大学学生パートナー	愛知大学学生パートナー 大学外周の清掃活動	8
わかば	CoderDojo 豊橋	Hour of Code in 豊橋&CoderDojo 豊橋の展開	9
わかば	三河材の普及を目的とした木育プロジェクトチーム	三河材の普及を目的とした木育プロジェクト	10
わかば	豊橋創造大学 530 運動推進プロジェクト	豊橋創造大学 530 運動推進プロジェクト	11
わかば	キラキラ Tgirls(豊短)	Let's join! 豊橋まつり	12
わかば	SOZO 観光マップ隊	若者の力で新名所を SOZO しよう!	13
わかば	豊橋学生フリーペーパー PLEND!編集部	若者向け豊橋ローカルフリーペーパー制作事業	14
わかば	しあわせ考房・あい	認知症高齢者に対する優しさを育む子ども啓発活動と教材作成の実践 「やさしいひと・まち・ふれあいプロジェクト」	15
わかば	豊橋創造大学短期大学部 We can 子育てサークル	We can 子育てプラスワン!	16
わかば	豊橋まちなか公共空間活用学生実行委員会	奥三河木材ストリートファニチャーを用いたまちなか公共空間活用	17

- ・ つつじ補助金 設立後 5 年未満 補助率 10/10 上限 5 万円
- ・ くすのき補助金 設立後 2 年以上 1 回目 補助率 2/3 2 回目 補助率 1/2
3 回目 補助率 1/3 3 回とも上限 30 万円
- ・ わかば補助金 若者の活動団体 補助率 10/10 上限 10 万円



令和元年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	農園（畑）を利用した地域交流活動
団体名	おせっ会

項目	内容
<p>事業の概要 （取組みの内容） ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>農園（あけみ園）を利用した花づくり、野菜作り。 芋のつるさしから芋ほり、焼き芋会は大きなイベントとなった。 三世代教室（論語塾、折り紙教室、読み聞かせ）は内容がとても充実した。</p> <p>総事業費：51,339円（内補助金：50,000円）</p>
<p>事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・老人ホームとの交流により、参加した孫たちに思いやりができた。 ・協力者により、あけみ園の除草ができた。 ・みどりの協会から花苗が定期的に提供されるようになった。 ・三世代教室では、小学校5年生の男子が田んぼにいる生物の紹介と害についての発表があった。 ・それに呼応するかのよう、保護者3名協同の大型紙芝居があった。 ・老人ホームの参加者が毎回楽しみにして参加してもらえるようになった。 ・会の活動に感動して、活動資金を毎回寄附してくれる人が現れた。 ・口コミにより協力者が増えている。
<p>今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の三柱を中心に、校区の憩いの場、団らんの場を提供していきたい。 ・あけみ園で収穫された作物は校区の希望者に提供していきたい。 ・休憩所、作業所を充実させたい。

令和元年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	花壇の整備
団体名	小松原みどりの会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容)</p> <p>※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4/28 みどりの会会議(参加者5名) ボランティア募集方法・除草、花壇の整備、植栽日程決める。 ・5月中旬 自治会回覧に「環境整備後のつつじ植栽のボランティア募集」のお知らせを入れる。 ・5月末 重機を使って花壇を掘り起こし ・6/2 つつじ植栽 ・9/22 2箇所目花壇につつじ植え付け 2回の植付で約14㎡つつじを植栽した。 以降、会員・有志にて除草・管理を行っている。 <p style="text-align: center;">総事業費：51,794円 (内補助金：50,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>第1回つつじ植栽時、みどりの会会員以外にも3名の参加者あり。2回目は5名と増えた。毎日目にする道路に面した花壇がきれいに整備された事で、町を美化する動きが徐々に浸透してきている。 花壇周りへのゴミの投棄もかなり減っており、周辺住民からも喜ばれている。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>今回、ゴミの投棄が多かった花壇を優先してつつじを植栽したが、花壇全体の5分の1以下しかできていない。参加者以外の町民からも植栽継続の声がたくさん上がってきているため、これを機に「推進事業(くすのき補助金)」に協力していただきながら、花壇全体を整備し、子ども達の通学路である花壇をきれいにしてゆく。</p>

令和元年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	天伯団地 支え合い活動 ひだまりの会
団体名	天伯団地 支え合い活動 ひだまりの会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>1. 事業の概要（取組内容）</p> <p>(1) 居場所づくり</p> <p>①茶話会 *第二土曜 *計 11 回開催 歌声そよ風 延べ 271 名 *第四土曜 *計 9 回開催 健康体操、ペーパークラフト、手提げ袋作り 延べ 184 名</p> <p>②手芸教室 *毎月第二金曜 手芸教室、防災頭巾の作成、クラフト、健康麻雀教室 計 11 回開催 延べ 106 人</p> <p>③カラオケ教室 *毎月第三金曜 計 10 回開催 延べ 60 人</p> <p>④ウォーキングイベント（名称 歩こう会）毎月第二・第四土曜 19 回 延べ 127 人</p> <p>⑤園芸教室 3 回 延べ 11 人 木工教室 2 回 延べ 10 人</p> <p>(2) お互いさま活動</p> <p>庭木の剪定 5 件、病院の付き添い 3 件、買い物 13 件、軽微な大工 1 件、見守り声かけ 1 件 計 23 件 総事業費：914,000 円（内補助金：240,000 円）</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>1. 「ひだまりの会」結成後 3 年半が経過、公民館を中心にコミュニティ活動が定着。</p> <p>2. 団地内がにわかにも明るく元気なお年寄りの外出する姿が目立つようになった。</p> <p>3. 挨拶運動が活発化、お年寄りも子供も元気よく身振り、手ぶりで挨拶している光景が目立つ。</p> <p>4. ひだまりの会で高齢者が、安否確認旗を 320 本完成させ、3 度の訓練経験、向こう三軒両隣の組織（班）を完成させた。ここにきて、防災頭巾の要望する住民の声が上がり、当面 50 枚を作成中。</p> <p>5. 居場所づくりの活動の中心が、「歌声そよ風」と「健康体操」であることが確認できた。それぞれの新たな参加者が増えた。</p> <p>6. 今後、支え合い活動を立ち上げる多くの他団体への発信力が高まり、居場所づくりをする新たな立ち上げのグループからの問い合わせや、具体的にお世話をした。（ダンスフレンドとよはし、中野町）</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>1. 昨年に続き、今年度の課題として「男性の参加者が少ない」「参加者が固定されている」「子育て世代の参加者が少ない」等の課題がある。・歩こう会を立ち上げ、男性の参加者を増やそうと努力したら、6 人程度新規参加が増えた。また、男性が少ないのは、男性が集まるメニューが少ないからだということも分かった。・団地内で要望が続いている防災頭巾をどのくらい作成するのか検討が必要。</p> <p>2. 新年度は、豊橋市の市民協働推進補助金がなくなるため、新たな活動資金確保のために、手づくり手芸作品展即売会を 2 回/年開催する。</p> <p>3. コロナウイルスの感染拡大に備え、手芸教室で「手作りマスクの作成」に挑むことにした。当面の目標は、65 歳以上の高齢者に配布する。予算は自治会にも協力を要請する。</p> <p>4. お互いさま活動は、定着するためにはもう少し時間がかかる。どうしても遠慮しがちのため、日常的な訪問活動を徹底したい。病院の付き添い、買い物への要望が増加する傾向にある。「ひだまり号」3 台新設目標で 2 台登録できている。</p> <p>5. 令和 2 年度は、補助金もない。寄附金集め、手作り作品展示会の開催、防災頭巾の製作、マスクづくりで無理なく活動費を生み出す。</p>

事業名等	豊橋こども食堂*なかよし
団体名	豊橋こども食堂*なかよし

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容)</p> <p>※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>2019年4月から2020年3月までに8回の子ども食堂を開き、延べ345人の方にカレーライスを提供いたしました。</p> <p>尚、2019年度はインフルエンザ、コロナウイルス流行の為、こども食堂は4回お休みいたしました。</p> <p>参加者への限定は全くないので、本当に食事に困っている方にも気軽に参加してもらえたのではないかと考えております。</p> <p>また、この食堂は毎月1回色々な年齢の子ども達が共に食事をする機会となり、家庭、学校、塾等では実現出来ないリラックス出来る居場所の提供も出来ているのではないかと自負しております。</p> <p>総事業費：90,221円（内補助金：39,000円）</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>1. 子ども食堂が毎月1回開かれる事は近所の子ども達にも知れ渡り、毎回楽しみにしてくれる様になりました。</p> <p>2. 市内では、他の校区でも新たに子ども食堂を始めた所も出てきております。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>今後は、対象者を限らず、地域の人々の交流の場にもなるようにしていきたいと思っております。</p> <p>また、子ども達への工作指導、食事提供のみではなく、読書会や学習支援等にも対応したいと思っております。</p>

事業名等	アクティブ・シニア・フェスティバル豊橋2019 ～とよはしファミリーフェスタ～
団体名	アクティブ・シニア・フェスティバル実行委員会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容)</p> <p>※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>令和元年11月24日(日)豊橋市総合体育館第1競技場、エントランス、敷地内にて開催 参加者 3,400名</p> <p>豊橋市を中心とした商店、企業、趣味団体、医療、防災関係などのブースを集めて、シニアを軸とした3世代家族の交流と、セカンドライフへの提案などを、会場内で楽しみながら体験してもらう企画内容。</p> <p>6年目となった今回は、ファミリーへの広報活動を拡大し、保育園・幼稚園、小学校全生徒へのチラシ配布などを実施。</p> <p>企画からまる1年近くの準備と運営を、全て手づくりでスタッフがこなし、豊橋のマスコット、女神のほほえみ米など地域を紹介。</p> <p>地震体験車、脳年齢、自動ブレーキ体験などを通じて、防災・防犯などを身近に感じてもらえる内容をくわえた実施。</p> <p>遊具・各種教室などを含め、三世代が会場内の様々なブースを通じて交流を深める内容としました。</p> <p>総事業費：976,134円 (内補助金：300,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>今年は天候も良く、11月後半ながら暖かい日となって、多くの印刷物配布、体験ブースの拡大で、大盛況な内容となり、開場と同時に多くの入場者となりました。今回の企画としてシニアを軸としながら、子供を含めたファミリーへの呼びかけと案内が効果的でした。</p> <p>地震体験車での災害への取り組み、自動ブレーキ体験による事故防止や防犯への考えが身近なものとして感じていただけました。</p> <p>この開催を終えて、より一層、今後予測される地震や自然災害、事故、防犯に対する取り組みを家族皆さんで考えてもらうための提案を考えていきたいと思いました。</p> <p>シニアを軸としてですが、より多くの方が、このイベントを通じ、私たちの住むこの街を、楽しさのあふれた街になることを目標に、誰もが楽しめる開催を考えます。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>今回、過去の入場者を大きく超える開催が出来ました。資金力のない、限られたスタッフでの広報活動・運営を通じて、色々な問題(消費税など実施経費の増加・宣伝・必要資材の確保・入場者に対する対策・参加者へのサービスなど)が多く、多くの方の応援・ご協力をいただいておりますが、開催での困難な課題と考えています。入場された多くの方々から、「来年もやってください。」「楽しかった」「もっと宣伝すれば良いのに。」などアンケートにお答えいただき、大変ありがたいと感じました。</p> <p>スタッフの方々が、違った職業をもち、一年を通じたイベントへの参加に難しいことが多くなり、今後の課題への、新たな取り組みとして、応援企業などの資金調達や、他の団体などへの協力の呼びかけ、幅広い広報活動を展開していきたいと考えています。</p>

令和元年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	さくら音楽祭りとまちづくり事業
団体名	二川さくら守の会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染症対策として各種イベント自粛の要請を受け、3月29日開催予定であった第3回二川桜まつり音楽イベントは取り止めることとしました。今後の対応としては、時期を延期して音楽イベントを開催していきたいと考えています。</p> <p>2月までは開催方向に向けての打ち合せ会をおこないました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1月28日(火) 当日の流れ、曲目、チラシの作成等 講師含めて 8人 2月1日(土) チラシの作成、当日の流れ確認 講師含めて7人参加 2月13日(木) チラシ配布、協賛者確認等 講師含めて6人 2月22日(土) 当日演奏者山本愛花音さん激励会演奏者含め8人 2月28日(金) 延期決定会議 講師含めて7人 3月3日(火) 延期チラシ作製会議 印刷会社職員含めて7人 3月4日(水) 白井鐵造記念館と二川さくら守り交流会講師含めて3人 3月10日(火) 延期チラシ配布、今後の課題、予定講師含めて7人 3月29日(日) 延期にはなりませんがシュミレーションしてみました。講師、演奏者と役員10人 <p>総事業費：94,575円 (内補助金：47,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本年は3回目になります。昨年、一昨年前参加してくれた方々から今年はいつですか？等応援いただいています。 11月に秋の桜まつりで手を入れると、さくらも春にきれいな花を咲かせて応えてくれます。 桜の花を待ち望むと同時に桜祭りも楽しみにしてくれている事をじっかんします。
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 天候に左右されます。秋は小雨決行でもよいが、春はそうはいきません。 春は演奏者の関係で予備日を設定できない。春は、天候により屋内のみのイベントとする事で対応する。

事業名等	高校生ボランティアハートネットワーク交流会（発表会）
団体名	高校生ボランティアハートネットワーク協議会

項目	内容
<p>事業の概要 （取組みの内容） ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>各校がボランティア活動の発表の場を持つ事で、広く市民・団体へ発信し、奉仕の心を育み、各校独自のボランティア活動を通じてこの活動が地域社会における大切な活動として継続され、交流の輪を広げること。また、各種ボランティア活動を通じて地域の問題などをみつめ、視野を広げて豊橋を住みやすい地域にしていくこと、多くのボランティア活動を通じて「豊橋に住んでいてよかった」と思える豊橋を作っていくことを目的とした事業。</p> <p><各高校のボランティア活動の発表会及び交流会を実施> 令和元年 12月25日 12:00~15:45 穂の国とよはし芸術劇場プラット 参加者 200名 <発表会の概要> 豊橋市内の高校生（10~12校）による、ボランティア活動の発表会の場を設け、それぞれの活動報告及び各校生徒の交流の場を持った。</p> <p>総事業費：102,966円（内補助金：100,000円）</p>
<p>事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）</p>	<p>事業後に行ったアンケート調査によると、各校の発表を聞いて、自分たちの高校のボランティア活動の内容を改めて振り返るきっかけになったり、新たなボランティア活動を知ること、ぜひ自分たちの学校に取り入れてみたいと考える生徒が多くみられ、結果的に、発表会・交流会を行ったことで、良い刺激を受けたり、「気づき」を得た生徒が増えたと感じる。</p>
<p>今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）</p>	<p>アンケート調査の中で、「高校生だからこそできることがあるのではないだろうか」という意見も見られ、自分たちが行動を起こすことこそが、より良い豊橋のみらいに繋がると考えた生徒が多かった。今後も引き続き、定期的に活動報告や交流の場を設けたり、高校生だからこそできる発信の仕方を模索していく必要があると感じた。また、各高校が共同で開催するイベントなどを行い、高校生が直に市民と触れ合い、ボランティア活動を広めることができるような場を設けても良いのではないかと考える。</p>

事業名等	愛知大学 学生パートナー 大学外周の清掃活動
団体名	愛知大学 学生パートナー

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容)</p> <p>※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動は9/27、10/31、11/28、12/19、1/9の計5回 9/27は、豊橋駅前の530運動に参加。 その他の日程は、大学外周の清掃グループのメンバー以外の人を誘って行った。 清掃範囲は、大学の西側と北側の歩道 ・会議は10/2、10/9、11/27の計3回 その他の日程は、地域連携室での会議。 ・豊橋祭り中で募金活動（トヨッキー基金） <p>わかば補助金を受け取った団体に対して、市役所から要請があったため。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビブス他必要物品の購入 ・12/19 やしの実FM「キラピカ☆530 タイムズ」出演 <p>総事業費： 100,404 円 （内補助金： 100,000 円）</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動毎にゴミ袋が4つ程度いっぱいになるほどゴミを回収した。 ・ゴミの内訳で最も多いのは吸い殻であった。次に多いのは菓子類を梱包していたビニール袋だ。 ・歩道脇や植え込みの中に落ちていることが多く、注意して見付ける必要があった。 ・大学外周の清掃グループのメンバー以外の人に参加を呼びかけると、快く参加してくれる人が多かったため、呼びかける範囲を広めていくべきと考えられた。 ・ただゴミを拾っているだけでは問題の根本的解決には繋がらないので、ゴミを拾う活動と並行してゴミを捨てないようにしてもらう活動も行うべきと考えられた。
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も清掃活動は継続し、参加人数はできるだけ多く募りたい。 ・清掃活動は月1の頻度で行う。 ・参加人数を増やして、一度の活動における活動可能範囲を広げる。 ・活動の認知度を上げる。

事業名等	Hour of Code in 豊橋 & CoderDojo 豊橋の展開
団体名	CoderDojo 豊橋

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>子供向けプログラミング教材を用いた初心者向けのプログラミング体験イベント「Hour of Code 夏休み in 豊橋」、「Scratch Day & Hour of Code in Sozo Univ」を実施しました。併せて、興味を持った子供が定期的に学べる場として、プログラミング道場「CoderDojo 豊橋」を毎週（火曜・木曜 16:30～18:00）実施しました。</p> <p>■Hour of Code 夏休み in 豊橋：8月に5回実施し、延べ308名が参加（8/1 牛川小学校 77名、8/6 岩田小学校 32名、8/7 吉田方小学校 37名、8/9 中野小学校 24名、8/24 豊橋創造大学 138名）</p> <p>■Scratch Day & Hour of Code in Sozo Univ：10月26、27日に実施し、延べ202名が参加</p> <p>■CoderDojo 豊橋：8月1日～2月末までの毎週火・木曜日に計49回実施し、延べ986名が参加</p> <p>■その他活動：鷹丘小学校教員研修（12/12、教員40名）、植田小プログラミング体験講座（2/13、5年生51名）</p> <p>本事業を通じて、延べ1587名が参加しました。</p> <p>総事業費：135,090円（内補助金：100,000円）</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>参加総数500人程度を目標としていた「Scratch Day & Hour of Code」では、ほぼ目標通りとなる510名の参加となりました。また、CoderDojo 豊橋については、コロナウイルス対応で3月開催が出来なかったものの、49回を開催でき、参加見積1000人程度を少し下回る986名の参加となりました。多くの子どもたちにコンピュータサイエンス教育を体験いただけていた。さらに、教員講習会も行ったことで、児童・生徒だけでなく、教員のコンピュータサイエンス教育に関する知識と理解を高めることができたと考えています。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>子供向けプログラミング教材を用いた初心者向けのプログラミング体験イベント「Scratch Day & Hour of Code」、および、興味を持った子供が定期的に学べる場としてのプログラミング道場「CoderDojo 豊橋」の実施については、実施体制や学生メンターの確保等には問題ないと考えています。電子コンテンツや電子教材については、今後も更新し充実できるように、継続的な準備のための活動が必要だと感じています。また、教える側であるメンターの人材拡充のため、学生だけではなく、学校教員や社会人へ広げるような講習会を企画していきたいと考えています。</p>

事業名等	三河材の普及を目的とした木育プロジェクト
団体名	三河材の普及を目的とした木育プロジェクトチーム

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	9月～12月 おもちゃをデザイン・試作 1月～2月 メイカーズラボ豊橋にてレーザー加工機を使用したおもちゃの加工 2月9日 10時～15時 豊川堂アピタ向山店前にて実証実験イベントを開催。 2月15日 10時～15時 こども未来館ココニコ館内広場にて実証実験イベントを開催。 総事業費： 61,200円 (内補助金： 61,000円)
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	2月9日 豊川堂アピタ向山店前での実証実験イベントでは37組の親子、計50名以上の子供たちに体験していただきました。当初、積木として考案していたおもちゃでしたが、はめ込むための木枠を作成していたことにより、パズルとして遊ぶ子どもが多くいました。また、人通りの多い場所で実施していたため、「デイサービスで利用したい。」「別の場所で色々な種類の動物・恐竜のおもちゃを配布してほしい。」など、多方的なご意見をいただきました。 2月15日 こども未来館ココニコ館内広場での実証実験イベントでは34組の親子、計50名以上の子供たちに体験していただきました。ココニコは子どもを対象とした公共施設であるため、アピタ向山店でのイベントに対して子ども連れのご家族が多く、おもちゃが対象としていた年齢層の子どもたちに体験してもらうことができ親御さんへのアンケート調査も行うことができました。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	実証実験イベントで親御さんへ行ったアンケートではおもちゃの需要傾向や購入経路を調査するためにお子様の年齢、お子様が普段遊んでいるおもちゃの材質や種類、木製おもちゃ購入の有無やその購入経路といった5つの質問に答えていただきました。その結果から、今回のイベントに関心を持っていただいたのは2～3歳のお子様連れの親御さんであったことや、お子様が普段遊んでいるおもちゃはプラスチック製のものであり、その中でもレゴブロックやプラレールなど自身の発想から組み立てていく創造的行為ができるものが遊ばれていることがわかりました。以上から今後の取り組みとして、現在のおもちゃは対象年齢を定めて開発を続行し、加えて創造的行為ができるおもちゃやデイサービスなど他の年齢層を対象としたおもちゃを新しく開発しようと考えています。

令和元年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	豊橋創造大学 530 運動推進プロジェクト
団体名	豊橋創造大学 530 運動推進プロジェクト

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容)</p> <p>※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>今回行った主な事業は以下の3点である。</p> <p>第1に、プロジェクトメンバー4名は、「クリーンアップ大作戦」(5月25日、7月20日)に参加し、豊橋駅周辺のゴミ拾いを行った。また、「環境フェスタ」(11月9日)にボランティアとして参加し、フリーマーケットの受付、スタンプラリーの対応などを行った。</p> <p>第2に、12月19日にプロジェクトメンバー4名は、豊橋創造大学西門およびグラウンド周辺の排水溝で530運動を実施した。</p> <p>第3に、プロジェクトメンバー4名は、大学生を対象とした530運動についての広報活動を行うため、大学生の視点からデザインした530運動についてのチラシとポスターを作製した。プロジェクトメンバー自らが、キャッチコピーを考え、学内で実施した530運動をポスターの背景にした。また、530運動環境協議会から頂いた意見をもとに修正を行った。3月26日に学内にポスターを掲示し、チラシを設置した。</p> <p>総事業費：100,293円 (内補助金：100,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>第1に、「クリーンアップ大作戦」に参加した成果として、想像以上にゴミの量が多く、530運動の重要性を認識することができたことである。また、「クリーンアップ大作戦」「環境フェスタ」では学生の参加者が少なく、学生に530運動をアピールする必要性を実感することができた。</p> <p>第2に、豊橋創造大学にて実施した530運動の成果として、菓子の袋やレジ袋、空き缶、吸い殻、壊れた傘など、多くのゴミをプロジェクトメンバーが協力して拾ったことである。これまでは学内やその周辺のどこにゴミが落ちているのか意識していなかったが、活動を通して、530運動への関心を高めることができた。</p> <p>第3に、チラシ・ポスターは作製直後であることから、具体的な成果は今後となるが、現時点では、530運動に参加した経験を活かした学生向けのキャッチコピーの入ったポスター・チラシを考えることができた。そのため、今後、チラシを配布したり、ポスターを掲示したりすることによって、学生の530運動への意識向上が見込まれる。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>今後の見通しとして、以下の3点が考えられる。</p> <p>第1に、「クリーンアップ大作戦」や「環境フェスタ」への継続的な参加である。今後は、プロジェクトメンバーだけでなく、メンバーが自ら参加者を増やせるように積極的に働きかけていきたい。</p> <p>第2に、豊橋創造大学での530運動の定期開催、豊橋市内他大学での530運動の開催である。今後は、学内の530運動を定期的で開催することで、さらに参加者を増やし、また、他大学でも開催できるよう呼び掛けていきたい。</p> <p>第3に、チラシの配布とポスターの掲示である。ポスターについては、豊橋創造大学以外に、豊橋市内他大学、市役所で掲示し、チラシについては、豊橋創造大学や豊橋市内他大学で配布するだけでなく、若者が多く集まりやすい場所(豊橋駅前、愛知大学駅前)でも配布する予定である。</p>

令和元年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	Let's join! 豊橋まつり
団体名	キラキラTgirls (豊短)

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>豊橋祭りの参加準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着付け教室 8月5日 参加者 16名 ・着付け練習会 8月19日 参加者 11人 ・踊り練習会 <p>1回目 9月19日 参加者 17人 (高校生含む) 2回目 9月24日 参加者 26人 3回目 10月1日 参加者 20人 4回目 10月3日 参加者 12人 (高校生含む) 5回目 10月8日 参加者 20人 6回目 10月15日 参加者 31人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京五輪音頭振付練習会参加 8月11日 参加者 3人 ・髪飾り・うちわ作成 <p>8月19日 参加者 7人 9月27日 5人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊橋祭り参加 10月19日 参加者 80人 ・参加企業情報 プレゼンテーション 12月5日 参加者 15人 <p>総事業費：51,140円 (内補助金：51,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>浴衣の着付け教室を開いたことで、多くの人の方が自分で浴衣を着ることができるようになり、他の人に着付けができるようになった。若者による日本の着物文化の継承に貢献できた。</p> <p>総踊りでは同じ豊橋市内の短大である愛知大学短期大学部、さらに豊橋商業高校の生徒さんとの合同で参加することにより、若者の祭りばなれを少しでも解消することができた。参加者からは祭りの楽しさを感じることができたという感想が寄せられている。</p> <p>総踊りに参加した企業について調べ、それをこれから就職する短大1年生、高校3年生にプレゼンテーションを行った。地物企業へ興味をもってもらい、若者の地元離れにもつながる活動ができたと考える。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>課題①浴衣教室の参加申し込みが夏休み直前になったため→再度前回指導を受けた稲葉直子先生に再度着付け教室を行い、全員が自分で着付けをできるようにする。メンバーは昨年も参加し自分で着付けができるようになったため、今回は先生のサポートとして教室に参加する。</p> <p>課題②高校生の参加が少なかった→豊橋まつりの踊りの練習を豊橋市内のいくつかの高校にて行う。2020年度は豊橋市内の高校全校に案内を出す。</p> <p>課題③豊橋祭りのアピール度が低い→浴衣で市内のイベント等に参加し豊橋祭りのチラシ等を配る等豊橋祭りを知ってもらう活動をする。課題④企業の魅力の伝え方→参加企業のホームページなどで企業を調べ冊子にしたのみにとどまった。来年度は実際に企業を訪問し、女性社員の方などに直接お話を伺い、それを高校生や短大生に伝え、地元企業に興味関心を持ってもらい女性が豊橋に根付き活躍することができる取り組みへとつなげていきたい。</p>

事業名等	若者の力で新名所を SOZO しよう！
団体名	SOZO 観光マップ隊

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容)</p> <p>※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p><u>A インスタ投稿（情報発信）</u></p> <p>牛川・吉田城周辺の魅力ある新名所をリサーチし、インスタグラム（以下、インスタとする）を活用して情報発信を行った。8月から、グループでのインスタ運用や投稿のルール作りからスタートし、投稿用の取材準備を行い、10月末の学園祭より、投稿を開始し、3月初旬まで継続した。</p> <p><u>B 学園祭（イベント）</u></p> <p>10月26日（土）と27日（日）に行われた豊橋創造大学の学園祭にて、インスタ投稿の告知と情報収集を兼ね、ポスター展示と簡単なアンケート調査を実施した。ポスターには、インスタ投稿前に取材した12の近隣スポットの紹介記事を掲載し、アンケート調査（調査票配布もしくは口頭による質問、ヒアリング）を実施した。</p> <p><u>C マップ作成</u></p> <p>インスタで投稿したスポットを紹介するマップ（地図）を作成した。マップデータの作成を行い、インスタ投稿したスポットの記事掲載を行った。当初は、投稿済みスポット20件の掲載を検討したが、情報量や地図上での見栄え（縮尺）の問題から、エリアを牛川地区周辺に限定した。再度、マップへの掲載確認を行ったところ、配布等へのご協力を頂けることになり、印刷部数を予定の2倍（2,000部）とした</p> <p>総事業費：59,730円（内補助金：59,000円）</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>昨年10月末から今年3月初旬までに、約40か所のスポットについて取材を行い、29件の投稿（対象スポットは20か所）を行った。フォロワー数は36人（3月24日現在）、いいね件数も少しずつ増えている。学園祭以外に告知イベントを実施することができなかった分、数字は大きく残せなかったが、今後のマップ配布を通じて、徐々に増やせるものと期待する。ただし、現状のフォロワー数が少なすぎるため、更なる継続的な情報発信と告知が重要と考えている。</p> <p>この取材活動を通じて様々な方々と知り合うことが出来た。普段、あまり行かないところでも、私たちの活動趣旨をご理解頂き、親切にご対応して頂けることが多く、それが大きな励みとなった。特に、投稿後、「また取材して欲しい」、「もっと宣伝して欲しい」と依頼のご連絡を頂いたことは、全く予想していなかったことで、地域の情報発信のニーズと、この活動の意義を改めて認識することとなった。このようなことは、当然、同世代の若者たちが知る由もなく、そういった世代に向けて、私たちの経験や地域の想いを伝えることは、地域活性の一助となるものと再度実感している。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>まずは、初めて取り組むことばかりで、計画通りに進まず、マップ作成が遅れ、配布に関しては次年度になってしまった。4月以降、着実に配布・告知活動を行っていききたい。</p> <p>インスタ投稿については、今後も継続する予定である。ただし、新年度でメンバーも入れ替わることから取材・投稿体制を改めて組み直す必要があり、まずは、既に取材済みのものから順次投稿していくことになる。また、フォロワーやいいね件数だけでなく、実際にその場所に訪れる人が増えることが重要であり、そのような成果に繋がるような取り組みについても検討する。</p> <p>マップ作成に関しては、今回取り上げられなかったスポットや地区、また紙媒体以外での情報発信の方法などを検討していききたい。今回は多くの観光マップを参考に検討し、地図データも自分たちで作成してきた。これらのノウハウを活かしたマップ作成を行っていく。</p>

事業名等	若者向け豊橋ローカルフリーペーパー制作事業
団体名	豊橋学生フリーペーパーPLEND！編集部

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容)</p> <p>※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>「渥美線沿線(豊橋市内)オススメ“駅近”スポット」をテーマに、打ち合わせや取材を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせ 2週に1回(火曜日) ・取材 (2019年8月~9月) <p>取材後、冊子の編集班とSNS発信班に分かれ、冊子の作成とSNSでの情報発信を同時進行で進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冊子の編集(2019年10月~2020年2月) ・SNS発信(2019年10月~2020年1月) <p>2020年3月に校閲を行い、3月26日に入稿。3月31日に発行した。発行部数は5000部。3月31日から配布作業を行う。</p> <p>総事業費：249,700円 (内補助金：100,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>全24ページのボリュームある冊子を5000部発行することができた。SNSで発信しながら、フリーペーパー制作ができたことで、編集期間にも新しい情報が更新でき、SNSでのフォロワーを増やすことができた。→フォロワーが増えたことでフリーペーパー配布の際にも反響があることに期待できる。</p> <p>フリーペーパーでの発信とSNSでの発信を両立できたことで、季節性のある情報はSNSで発信し、通年利益のある情報はフリーペーパーで発信するという、効率の良い情報発信ができた。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリーペーパーの発行頻度が少ない。 ・5000部発行しても配りきれていない。 <p>(今後の取組み)</p> <p>フリーペーパーの制作・発行方法を変える。 →A4見開き1枚などページ数を減らすことで、月刊のフリーペーパーにする。フリーペーパーとSNSの両立は引き続き行う。</p> <p>配布先は取材したお店、大学、市内の施設はもちろん、市内の中高などにも広げられると良い。</p> <p>「定期的」、「継続的」な情報発信を目指す。</p>

事業名等	認知症高齢者に対する優しさを育む子供啓発活動と教材作成の実践「やさしいひと・まち・ふれあいプロジェクト」
団体名	しあわせ考房・あい

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>第1回 実施日：2019年11月20日 10時～11時 参加者数：28人 場所：昭和保育園</p> <p>第2回 実施日時：2019年12月3日 13時30分～ 参加者数：40名 場所：明照保育園</p> <p>子どもに『認知症』についてや認知症高齢者の方との関わり方を、パネルシアターを使用して伝える</p> <p>総事業費： 63,423円 (内補助金 63,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>実際に保育園(年長5歳児)で行わせていただきました。子どもたちは真剣にパネルシアターを見ており、声掛けにも楽しそうに反応してくれました。パネルシアターでの登場人物の様子や表情の変化を見て、認知症の方について問いかけた場面でも、一生懸命に答えようとする姿がありました。</p> <p>パネルシアターを終えた後に、子どもたちに認知症はどんな病気か、認知症の方にはどう接するのか、園の先生が問いかけてみると「忘れてしまう病気で優しくしないといけない」と答えてくれ、私たちの伝えたいことがしっかりと伝わっていました。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>課題としては、もう少しわかりやすく伝わりやすい表現で行う必要があります。現段階でも十分でしたが、子どもの反応があまり良くなかった場面がありました。その場面を改善し、次に行うことも園でも認知症についてしっかり伝えていきたいと思えます。</p>

令和元年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	豊橋創造大学短期大学部 We can 子育てプラスワン！
団体名	We can 子育てサークル

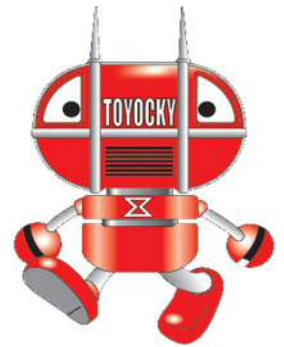
項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容)</p> <p>※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>学生たちが実習や授業で学んできた内容を、子どもたちや保護者の方々が、親子で遊べるような企画を提供した。「手遊び」「制作」「歌遊び」「身体遊び」など、子どもの発達段階を考えた遊び(活動)を行った。地域(近隣)の親子と学生の触れ合いにより、子育て中の保護者の精神的負担を軽減することを目的とした取り組みであるが、子育て中の保護者の気持ちに少しでも近づくことから、保護者側からも保育者の必要性やその仕事の内容を理解してもらうことができたと実施したものである。</p> <p>場所：豊橋創造大学短期大学部 保育実習室及び多目的ホール 実施日時：2019年9月28日(土) 10:30~11:20 3組の親子(内保護者3名、子ども4名)学生6名講師・教員2名 2019年12月21日(土) 10:30~11:30 6組の親子(内保護者6名、子ども12名)学生12名講師・教員2名 総事業費： 82,962 円 (内補助金：82,000 円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>今回の取り組みにおいて、参加された保護者からは、保育者の活動の幅の広さを実感していただくことができたようであり、保育者の存在意義を改めて認識していただく発言があった。例えば、保育者の学びは、歌・ダンス・制作・コミュニケーション等など同時に修得していくことの必要性についてである。また、これらの活動を実施し、他にも多々実践プログラムがあることを知っていただいたことから、本学の「コンサート」や「大学祭」に来場いただいた様子があった。子どもたちが地域の大学にて様々な遊びに参加し、今後保育者への興味、保育園や幼稚園、子ども園以外にもこのような子育て支援活動があることを知っていただくことの第一歩として意味のある活動ができたと考えている。学生にとっての学びとしては、子どもたちのみへの関わり方と、親子を通しての関わり方への違いがわかったところにある。特に今回の参加者の方々は、その活動内容に大変熱心であり、子どもと共に楽しむ・関わる・考えるということを親子で受け止めていたことが一貫していた。人数が少なかったこともあるが、私たち(学生)の思いがしっかりと伝わったと理解している。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>今回の活動については、事前の地域へのインフォメーションの方法に問題があったといえる。そのため少数での活動となったことから、子ども同士の関わりについての体験があまり期待できなかった。また、結果今回の参加者からは、子育てについての母親たちの様々な悩みなどを拾い上げることについてはできていない。現役の保育者(講師)が、子育てについてのコミュニケーションを行っていたが、学生たちによる保護者との濃厚な関わりはできていなかった。年齢差や学生であるということからの遠慮や戸惑いもあるようである。今後もしこの活動を継続していく場合、保護者へのインタビューやアンケートを実施し、子育て世代の方々の求めているもの、危惧していることの問題点についてより多くキャッチできるよう積極的に話をしていくことが必要だと感じた。また、それは学生にとっても保護者支援の学びに繋がっていくものである。</p>

令和元年度 市民協働推進補助事業 事業報告シート

事業名等	奥三河木材ストリートファニチャーを用いたまちなか公共空間活用
団体名	豊橋まちなか公共空間活用学生実行委員会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容)</p> <p>※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>1-1 実施体制</p> <p>まず、活動のほうでは、当初は豊橋技術科学大学で建築を学ぶ学生のみでの活動であったが、愛知大学の学生4名が加わった。また、豊橋まちなか会議と連携した。これらの効果が、活動の幅の広がり、活動の加速に繋がった。</p> <p>1-2 ストリートファニチャーの作成</p> <p>本活動の中核となる、地域の木材を活用したストリートファニチャー(SF)を作成した(テーブル1台、台形イス2台、布椅子3台)。</p> <p>1-3 作成したSFを用いた公共空間活用</p> <p>a) まちなかイベントでの活用</p> <p>10/13(11時~15時)に実施された市主催の「まちなかピクニック」の休憩スペースを、作成したSFを用いて空間デザインと設置を行った。</p> <p>なお、3/8に予定されていた同イベントでも活動を予定していたが、コロナウイルスの影響で中止となった。今後、同様のイベントにて設置予定である。</p> <p>b) 日常的な活用の試み</p> <p>まちなかをもっと柔軟に心地よく過ごす活動を実施している他の団体の活動へ、作成したSFが利用された。また、1年を通して、水上ビルの新規店舗前(幅の広い歩道)にイスの設置を試みた。</p> <p>1-4 新城市のふるさと納税品</p> <p>昨年度作成したテーブルだが、今年度の活動の効果もあり、新城市のふるさと納税の返礼品の1つに掲載された。東三河地域としてのにぎわい創出の一助となっている。また、この売り上げの一部は当方の活動資金となり、継続的な活動体制の構築に寄与している。</p> <p>総事業費：100,000円(内補助金：100,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>事業の成果により、まちなかで活用可能なSFの台数を増やすことができた。作成したSFを用いて空間デザインにより、小さなにぎわい創出の一助となった。</p> <p>また、まちなかの公共空間の活用可能性を示すことができた。</p> <p>間接的な効果として、まちなかとの関わりの薄い学生が、まちなかとの結びつきを持ち、訪ねる機会を創出した。地域の木材の活用に貢献した。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>もう少し頻度を上げてSFを活用した空間デザインと実施を重ねる必要があると考える。特に日常的な活用が必要である。そのためにも、まちなかで、どこにどのように活用できるのか、整理する必要がある。また、活用に適した主体との連携が考えられる。</p>

トヨッキー基金



©豊橋市トヨッキー



◇みなさまからの寄付と同額を市からも積み立てるので、
寄付の効果は2倍になります!

市民協働推進補助金は、
トヨッキー基金（市民協働推進基金）から
交付されています。



豊橋市 市民協創部 市民協働推進課
〒440-8501
豊橋市今橋町1番地(西館4階)
TEL: 0532-51-2483
FAX: 0532-56-5128
MAIL: shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp